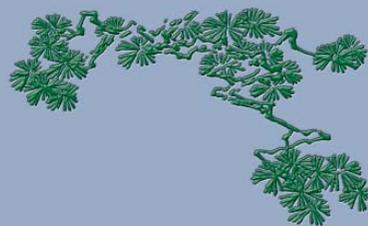


- 所在地／南島原市加津佐町野田名砂原附
- 規模／幅 0.09km、長さ 1km、面積 9ha、樹齢 9～90 年
- 指定／防風保安林、保健保安林
- 問合せ／南島原市加津佐総合支所経済課 電話 050-3381-5192



立地環境

島原半島の最南端で有明海に面し、前方には天草の島々、後方には雲仙岳を望みます。

松原の 今昔物語

防風、防潮、飛砂防備の役目を果たしてきた松林

元和2(1616)年、当時の城主・松倉重政が野田浜に松を植林したことが、この松林のはじまりと考えられています。松林の中には2基のキリシタン墓碑があり、後方の岩戸山にはキリシタンが隠れ住んだといわれる海食洞があります。

現在では白砂青松の海浜で、水の清らかさと風光美に恵まれ、海水浴やキャンプなどの家族連れで賑わっています。また、森林レクリエーションの場として親しまれる一方、後方に多く散在する集落、田畑の防風、防潮、飛砂防備の役目も果たしています。

COLUMN

野田浜は魅力的な海水浴場として知られ、キャンプも楽しめます。ここからの夕日の眺めは最高で、夕方の散歩もおすすめです。後方の岩戸山には眺望絶景の「座禅石」やキリシタンが隠れ住んでいたという「洞観音」などの史跡があります。また、岩戸山の植物は、「岩戸山暖地性樹叢」として国の天然記念物に指定されています。小高い丘の上にある権田公園からは、野田浜全体が見渡せませす。野田浜近くの加津佐漁港からは、イルカウォッチング船も出ています。

ACCESS

●電車やバスの場合

諫早駅から県営・島鉄バスで70分、「野田」下車、徒歩1分

●車の場合

長崎自動車道「諫早」I.C.より小浜経由で70分
駐車場有り

